

心豊かでたくましく共に生きる子ども



# ひらかた

7月号

令和7年6月30日

上尾市立平方小学校

校長 大野 和孝



ホームページ [上尾市平方小学校](#) [検索](#) [QRコード](#)

## ～1学期のまとめ～

校長 大野 和孝

早いもので、1学期も残り1か月となりました。6月7日の「ひらまるンピック2025」では、子供たちは練習の成果を十分発揮していました。今年度は、日頃からお世話になっている下校ボランティアの方々をお招きしました。これは、学校運営協議会委員の方から、「子供たちの頑張りを地域で関わりのある方に見せてあげたい」との意見から実現したものです。当日は様々な方から称賛の声をいただきました。前日から会場整備にご尽力いただいたおやじの会、当日の運営にご協力いただいた PTA 本部役員、片付け等にご参加いただいた保護者、卒業生、皆さまのお陰で、素晴らしいひらまるンピック2025になりました。心より感謝申し上げます。

6月はひらまるンピック2025の他にも、なかよし合宿(つばめ・あおぞら学級)、埼玉県こども動物自然公園(1・2年生)、西貝塚環境センター(4年生)、国会議事堂等(6年生)に出かけました。それぞれの学年、学級で貴重な学習、体験ができました。なかよし合宿では、富士見小学校の児童と宿泊を共にし、新しく友達になれたことを喜んでいる姿が印象的でした。1・2年生の校外学習では、初めての大型バスに興奮している様子が伺えました。バスの中で困っているお友達がいると、近くの子が先生を呼ぶなどの思いやりのある姿が見られ、大変微笑ましかったです。4年生、6年生も授業内容をさらに深める学習活動ができました。校外学習の終わりの校長あいさつでは、①お弁当を作ってくれたお家の人に「ありがとう」を伝えること。②校外学習の思い出をお家の方に話すこと、を子供たちに伝えています。自分を支えてくれていることが「当たり前」でないことに気づき、感謝の気持ちを伝えられる子に育ってほしいです。

さて、いよいよ1学期のまとめの時期となります。この3か月間、子供たちは新しい学年、新しい環境の中で大きく成長したと実感しています。ひらまるンピック2025、校外学習など様々な行事を通して、仲間と関わる喜びや目標に向かって努力する大切さを学びました。授業においては、真剣な眼差しで学ぶ姿、友達と活発に意見を交わす姿がたくさん見られます。1学期に培った力は、子供たちにとって大きな自信となり、2学期以降の学校生活の土台になることでしょう。2学期に向けて、この1学期の学びをしっかりと振り返り、さらなる成長につなげていけるよう取り組んでまいります。

7月19日から8月31日まで長い夏休みが始まります。今年度から、昨年度に比べ1週間長い夏休みとなります。5年生は1泊2日の林間学校があり、ハイキングやキャンプファイヤーが計画されています。子供たちにとっては、長い休みでないとできないことや新たなことに挑戦するよい機会となります。生活のリズムを崩さず、交通事故などにも十分気を付け、充実した夏休みを過ごしてほしいです。